



「猛暑」に追い打ちをかけるように毎週の「台風襲来」・近年にない気候で何が起きてもおかしくない状況の連続です・怖いですがね・  
9月に入りこれから「台風シーズン」なので、いったいどうなるのでしょうか？ 田んぼの稲も実が入り始め、ますます頭を下げてちょっとした雨風でも倒れてしまいそうで、これも心配の種の一つです・何とか倒れる前に刈入れを終えられれば仕事も楽なんですけどね・

# 瓦版 9月号

発行 (株)カネマタ工務店  
TEL 025-792-2560  
FAX 025-792-7102  
http://kanematak.com



## 重陽の節句 (菊の節句) 09/09

09月09日は五節句の一つ「重陽の節句」です・菊の花が咲く季節であることから「菊の節句」とも呼ばれます。「桃の節句」は有名ですが「菊の節句」の事は皆さんご存知でしたか？ 陰陽思想では奇数は「陽」の数であり、この奇数が重なる日をお祝いしたのが「五節句」の始まりとされています。中でも陽数の極みである9が重なる日である事からこの日を「重陽(チヨウヨウ)」と呼んだのだそうです。奇数の重なる月日は陽の気が強すぎるため不吉とされそれを禊う行事として節句が行われていたが、9は一桁の数のうち最大の「陽」であり、特に負担の大きい節句と考えられていました。後に陽の重なりを吉祥とする考えに変わり、祝い事をする風習へと変化しました。  
重陽の節句は古代中国が起源で、日本には平安時代に伝わったとされています・最初は宮中行事の一つとして、主に皇族や貴族の間で行われていましたが、後に庶民の間にも広まっていきました。この節句の日は邪気を祓い長寿を願って、菊の花を飾ったり、菊の花弁を浮かべた「菊酒」を酌み交わしたり、秋の味覚を調理して祝いました。他には前夜に菊に綿を置いて露を染ませそれで体を拭いたりしました。江戸時代には「後の雛」と言って、3月に飾った「雛人形」を虫干しの意味を含めもう一度飾る風習もあったようです。



## ちょっと変わった「薪ストーブ」・・・

先月のお盆休み明け、隣県の「長野県」のとある「薪ストーブ」の製造会社の方から連絡がありまして、「アウトドアで使える竈を覗いてほしい・・・」との事でした。何の事だか解らなかったのですが、弊社もペレットストーブや薪ストーブの販売にも携わっているのでも、「話を聞くだけ・・・」ならと会う事にしました。  
写真の物が実際の製品でして、サイズは150x150x300位の大きさ・鋳物ではなく鉄板を溶接しているようで、加工と製造も精巧に造られております。このメーカーさんは薪ストーブをメインに製造・販売しているようですが、製品の価格帯が20~50万円位と高額なためと、薪の確保が容易ではない事から火を使う事に「慣れ久しんでもらえれば」・半分遊び心の域から「薪」の良さに気付いてもらいたい・・・と、製品化したそうです。  
付属の「釜」でご飯を炊いたり、鉄板を載せればちょっとした「焼肉」も出来ます・使用する薪も大きな物ではなく、その辺の小枝で十分だそうで、これなら自宅の庭先やベランダなんかでもアウトドア感覚を体験できそうですね。「俺のかまど」と銘打って販売してまして、価格も希望価格で¥36,900(税別)・物としては面白いと思います。



## 「魚沼の自然」・・・今回は「昆虫」です。

復刻版のこのシリーズ・あらゆる生物の絶滅危惧を調べてきましたがタイトルを「魚沼の小動物」から「魚沼の自然」に変更しました・それで今回は昆虫の「ゲンゴロウ」について調べてみました。20年位前の頃は夜、街灯の下にいっぱい飛んできていたこの昆虫も最近はずっと見掛なくなり、よもや「絶滅危惧種」なのでは・・・と思ったら、やはり多くの種が個体数の減少で危機的状況に置かれているようです。  
そもそもこの種は4000近くに細分化される生物なのだそうで、ちょっと驚きです・その一部は環境省のレッドリストで(CR)から(NT)に入るものも多いようです・この昆虫は水田や池などの止水域、小川や溪流、さらには地下水などにも生息する。幼虫は細長い体をしており、終齢幼虫は成虫の2倍位の体長まで成長します。鎌状に長く伸びる注射針状になっている「大顎」で生きた獲物を捕食し、相手を麻痺させる毒と消化液を同時に注入し、獲物を溶かして飲み込みます・大型種の幼虫に咬まれると、人の指でもこの消化液による組織の壊死を起したり、重症の蜂窩織炎にまで至る症例が報告されているので、安易に素手を近付けるのは極めて危険です・かなり危険な生き物だったんですね・  
成虫は、水の抵抗の少ない「流線型」の体系と、ブラシ状の毛の生えた大きな後脚で素早く泳ぐことが出来ます。また、内部に水中での呼吸用に空気を貯める事の出来る機関があり、時折水面に体尾を突き出し空気を補充する行動をとります・餌は幼虫とは異なり死んで間もなかったり、弱った小魚や昆虫を摂食することが多いようです。



## 新築第一現場・・・工事進行中!

6月後半から木造躯体の組立を始めた「第一現場」・約2箇月を経過してようやく外壁張がもうすぐ終わりそうです。お盆を境に天候が一変して、猛暑が幾分治まったら今度は台風やら大雨・猛暑の復活と、天候の安定しない毎日現場作業も思うように進みません。この「第一現場」も「10月中旬に終われば・・・」と考えていたのですが、ある事情で10月初めには全ての工事を完了しなければならなくなってしまいました・目下、急ピッチで工事を進めています。  
外部は天候を視ながら進めるよりほかに、内部は床の仕上材を貼り終え、階段やカウンター等の造作が進められていますが、あと1月で仕上げまで済ませるのはかなり厳しい状況です。とは言え、やらない事には先へ進めませんのでお盆明けから日曜日以外は休み無、と毎日幾らかでも残業をして仕事を進められるよう頑張っています。  
お盆前にリフォーム工事はある程度終わらせていたので、今月いっぱいには2軒の新築工事に集中出来そう・毎年春先はさほど忙しくないのに、いざ新築物件が始まるとこの忙しさ・冬も含めて年間で平均して仕事がこなせばこれ程「ありがたい・・・」ことはないんですが、「雪国」特有の制約には太刀打ちできませんね・



9月 長月 2018年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
		地鎮祭 上棟吉日		三隣亡	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭吉日		地鎮祭 上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日		三隣亡		上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日		地鎮祭 上棟吉日	赤口	地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日	上棟吉日	地鎮祭 上棟吉日